

問1 北アメリカ大陸の西海岸や地中海沿岸で見られる、6月から8月にかけての夏季に降水量が極端に少なく、逆に冬季に降水量が増える気候を何と呼びますか。 (2026年 福島公立入試 類似)

1. 地中海性気候 2. 西岸海洋性気候 3. 熱帯雨林気候 4. 温暖湿潤気候

問2 ヨーロッパ西岸が、高緯度に位置しながらも冬の寒さが比較的穏やかで、夏は涼しいという特徴を持つ理由と、その気候区分名の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2014年 沖縄公立入試 類似)

1. 暖流の北大西洋海流とその上空を吹く偏西風の影響を受けているため：西岸海洋性気候 2. 寒流のベンゲル海流とその上空を吹く貿易風の影響を受けているため：西岸海洋性気候 3. 暖流の北大西洋海流とその上空を吹く偏西風の影響を受けているため：地中海性気候 4. 季節風（モンスーン）が海から湿った空気を運んでくるため：温暖多雨気候

問3 南アメリカ大陸南部のアルゼンチンや、アフリカ大陸南部に位置する都市の気候について、日本などの北半球の国々と比較した際の特徴として最も適切なものはどれですか。なお、これらの地域の統計資料では、7月付近に気温が1年の中で最も低くなる傾向が示されています。 (2020年 静岡公立入試 類似)

1. 地球が地軸を傾けて公転している影響で、北半球とは季節が逆転し、7月頃に冬を迎える。 2. 赤道直下に位置しているため、1年を通じて気温の変化がほとんどなく、季節の区別が存在しない。 3. 高緯度にあるため、1年を通じて偏西風の影響を強く受け、7月頃に最も気温が高くなる。 4. 広大な砂漠地帯に位置するため、降水量が極端に少なく、1月頃に気温が最も低くなる。

問4 ヨーロッパ西岸の気候が、暖流である北大西洋海流と偏西風の影響を強く受けていることを示す説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 沖縄公立入試 類似)

1. 北大西洋海流によって温められた空気を、偏西風が西から陸地へと運んでいる 2. 偏西風が北極からの冷たい空気を運び、北大西洋海流がそれを暖めている 3. 夏には季節風が海から湿った空気を運び、冬には乾燥した風が大陸から吹いている 4. 赤道付近で発生した貿易風が海水を北へ押し上げ、偏西風がその動きを止めている

問5 ある都市の統計において、最暖月の平均気温が約12度、最寒月の平均気温が約8度と、年間の気温差がわずか4度程度で推移している記録があります。また、12月から3月にかけて降水量が多くなる傾向が見られるとき、この都市が位置する場所の説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 香川公立入試 類似)

1. アンデス山脈の周辺など、南半球の低緯度に位置する標高の高い地域である。 2. 北極海沿岸など、北半球の高緯度に位置するユーラシア大陸北部の沿岸部である。 3. 日本の本州付近など、中緯度に位置する温帯の温暖湿潤な地域である。 4. サハラ砂漠の周辺など、回帰線付近に位置する降水量の極めて少ない地域である。

問6 多くの発展途上国に見られる人口の状態について、先進国と比較したときの特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2022年 徳島公立入試 類似)

1. 医療や衛生環境の未発達などにより、出生率と死亡率が共に高い「多産多死」の状態にある。 2. 生活水準の向上や家族観の変化により、出生率と死亡率が共に低い「少産少死」の状態にある。 3. 出生率は非常に高いが、医療技術の普及によって死亡率のみが急激に低下した状態にある。 4. 出生率が死亡率を下回り、国全体の人口が自然減となっている状態にある。

問7 赤道付近に位置するある地域の気候について、月平均気温が年間を通して25度から30度の範囲でほぼ一定しており、さらにすべての月で降水量が200ミリメートルを超えるという統計が示されている。このような特徴を持つ気候帯の名称として、最も適切なものはどれか。 (2019年 兵庫公立入試 類似)

1. 熱帯雨林気候 2. サバナ気候 3. 砂漠気候 4. 地中海性気候

問8 南アフリカのケープタウンやニュージーランドのウェリントンに見られる、温帯の気候帯における人々の生活や環境の特色として、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

1. 一年中気温が高く、スコールと呼ばれる激しい雨が降るため、高床式の住居が見られる。 2. 一年を通して降水量が非常に少なく、乾燥に強い作物やオアシスでの農業が中心となる。 3. 四季の変化がはっきりしているため、季節に合わせた農作業が行われ、多くの人々が居住している。 4. 冬の寒さが極めて厳しいため、タイガと呼ばれる広大な針葉樹林を利用した林業が盛んである。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 地中海性気候	夏季は亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）の影響下に入るため、雨がほとんど降らず乾燥した状態が続きます。一方で、冬季には偏西風や前線の影響を受けて一定の降水があるのが特徴です。この季節による降水量の変動が、他の温帯気候とは大きく異なる点です。
問2	答え 1 暖流の北大西洋海流とその上空を吹く偏西風の影響を受けているため：西岸海洋性気候	ヨーロッパ西岸は、高緯度（北海道よりも北など）に位置していますが、北から流れてくる暖流（北大西洋海流）の上を吹く湿った偏西風が、暖かい空気を大陸へ運んでくるため、冬でも気温が下がりにくい性質を持っています。この仕組みにより、夏は涼しく冬も比較的温暖な「西岸海洋性気候」が形成されます。
問3	答え 1 地球が地軸を傾けて公転している影響で、北半球とは季節が逆転し、7月頃に冬を迎える。	地球は地軸を約23.4度傾けた状態で太陽の周りを公転しています。このため、北半球が太陽の方へ傾いて夏（7月頃）を迎えているとき、南半球は太陽から遠ざかる方向に傾くため冬となります。この現象により、南半球の都市の雨温図では、北半球とは逆に7月頃に気温のグラフが低く沈み込む曲線を描くのが特徴です。
問4	答え 1 北大西洋海流によって温められた空気を、偏西風が西から陸地へと運んでいる	ヨーロッパの気候の大きな特徴は、暖流と偏西風の相乗効果にあります。高緯度まで流れる北大西洋海流は周囲の空気を温める役割を果たし、その温まった空気を偏西風が西から東、つまり大西洋からヨーロッパの陸地側へと絶えず運び込むことで、冬の寒さを和らげています。この仕組みがあるため、ロンドンやパリといった都市は、日本の北海道よりも北に位置しながらも、冬の寒さはそれほど厳しくなりません。
問5	答え 1 アンデス山脈の周辺など、南半球の低緯度に位置する標高の高い地域である。	年間を通じて気温が10度前後で安定しているのは、低緯度（赤道付近）の高山気候に特有の現象です。さらに、12月から3月にかけて降水量が多い（夏に雨が降る）という特徴から、季節が北半球と反対になる南半球に位置していることが判断できます。南米のアンデス山脈にあるラパスなどの都市がこの事例に該当します。
問6	答え 1 医療や衛生環境の未発達などにより、出生率と死亡率が共に高い「多産多死」の状態にある。	発展途上の多くでは、労働力の確保や乳児死亡率への不安から出生率が高い一方で、医療体制が不十分なために死亡率も高く、人口動態は「多産多死」の傾向を示します。先進国がたどってきた「少産少死」への移行の初期段階にあたります。
問7	答え 1 熱帯雨林気候	赤道直下の地域では、一年を通じて太陽の光を垂直に近い角度で受けるため、常に高温となります。この強い日射によって空気が暖められて上昇気流が発生し、連日のように「スコール」と呼ばれる激しい雨が降ります。その結果、気温の年較差（一年間の気温差）が小さく、かつ年中多雨という熱帯雨林気候特有の条件が成立します。
問8	答え 3 四季の変化がはっきりしているため、季節に合わせた農作業が行われ、多くの人々が居住している。	温帯は、熱帯のように極端な高温が続くわけではなく、また冷帯（亜寒帯）のように極寒の冬が長く続くわけでもありません。適度な気温の変化と降水量により、農業生産が安定し、世界的に見ても人口が集中しやすいのが大きな特徴です。選択肢にあるスコールは熱帯、オアシスは乾燥帯、タイガは冷帯（亜寒帯）の特色を説明したものです。